

商工業の再生・ 振興策について



高橋 博幸

質問
商工業の再生・振興策の構築、実行が求められているがどうか。

町長答弁
観光産業は幅広い総合産業であると考えている。すなわち観光産業の振興が商工業の振興に大いに寄与するものと考えている。

しかし街の中で買い物をしたいと思っても買いたい物がないのが現状であるので、これから直していかなければならない。今後提案があれば参考にしたい。

**魚沼地域基幹病院
構想について**

質問
魚沼基幹病院について無関心すぎないか。

湯沢町はこの議論から置き去りにされているが、どう関わっていくつもりなのか。決まったことを受け入れるだけで良いのか。

町長答弁

湯沢町は県の魚沼地域基幹病院設立推進協議会のメンバーでなく、情報が入らず、県からもこの件に対して特に連絡は無い状況である。

町長としては、魚沼基幹病院が核となり、魚沼地域に安心安全な医療が提供され、今より以上に医療環境が向上することになればならない。これが大前提と考えている。

街の今後の関わり方であるが、新潟県は平成19年度に基本計画を策定すると聞いていたので、前の計画案の段階で説明をしていた。できるだけ機会を作ってもらい、これらの点を確認していきたい。

質問

基幹病院ができることでこの地域の医療環境が向上しなければ意味が無いが、本当にそうなるのかという危機感が強い。医師の確保も非常に危惧されている。

なぜ湯沢町として議論に参加できないのか。せめて会合にオブザーバー参加だけでもさせてもらえないかという要請はできなかつたのか。

9千人弱の町民の命を預かっている以上、この問題について町長として毅然たる態度が必要だ。19年度の基本計画を決める前に説明を求めるといっても、外堀を埋められ、承諾せざるを得ない状態になってからでは遅い。

医療関係者の中にはそういうことを心配している方々もいる。毅然とした態度で県に立ち向かっていただかなくては困る。いずれにしろ湯沢町が議論に参加しないのはダメで、必ず問題になる。

話を聞かせるよう、議論をさせるよう要請することは町の務

めた。

町長答弁

湯沢町として町立病院をこれからどうするとうようなことを念頭においたり、六日町病院、小出病院がそれぞれの市で運営していく中で、湯沢町がどう関わっていくのか、そういうところまで考えていかなければならないと考えているので、その辺も含めてそう遠くないうちに県の方に行き、情報を得たい。



観光産業は湯沢町の基幹産業である